

H16 年度浜松工業会 第 1 回理事会の報告

平成 16 年 7 月 11 日

浜松工業会副会長 江川

(大阪奈良支部長)

日時：平成 16 年 7 月 3 日(土)昼食後から 3 時まで

場所：オークラアクトシティホテル浜松「平安の間」

構成：名誉会長、名誉副会長、会長、理事長他役員総数 37 名中出席者 25 名、欠席 10 名、他学生理事候補 6 名

議題

1. 学生理事のオブザーバー参加について

- 賛助会員である学生の意見を工業会活動に生かしていくために、学生理事の参画が承認された。今年度は 6 名とし、それぞれ総務、事業、編集委員会に参画する。
 1. 総務担当 菊川明彦 (MED 1 年)、荒井雄一 (M11 年)
 2. 事業担当 山本憲司 (C 2 年)、杉田敦 (CS 4 年)
 3. 編集担当 渡邊桂子 (A 4 年)、大力崇弘 (M 1 年)

2. 平成 16 年度の事業計画及び予算について

- 塩原会長から会費前納制の取扱いについて、詳細資料をもとに問題提起された。現在賛助会員会費を 1 年の収入として取扱っているが、実質年間支出できる予算は、少ないことを理解する共に会計制度で明確にする必要があるというもの。
- H16 年度予算は総会にて承認されているので、運用で使い方を検討していく。さらに会計制度については財務委員会 (木村理事) で検討することにした。

3. 静岡大学浜松キャンパスの飛躍を目指すシンポジウム

- 国立大学法人化に伴い、個性輝く静岡大学にするため、浜松キャンパスとして、どのような戦略を立てればよいのか、どのような目標・計画を立てればよいのか、それらをどのように実行して成果をあげればよいか等について、徹底討論を行いというもの
- 日程は 9 月 25 日 (土) 15 時～19 時、佐鳴会館会議室にて。全国支部長会議の後、継続実施と予定。パネルディスカッションを中心に行う。
- 各支部から支部長以外の会員の積極的参加を呼びかける (但し交通費は本部から支給しないので、支部で検討願いたい)
- 意見
 - 学生が発言できる場を設けてはどうか。
 - 大学側の説明者は絞って、議論を集中できるようにしたほうがよい
 - 参加できる人数は?・・・150 名位

4. 支部活動の活性化対策について

- 例年通り支部活動報告書を提出してもらい、支部長会議で議論することが承認された

5. 会員名簿の発行について

- 会員新規名簿の発行について、冊子ではなくダウンロード形式で必要な人に配布する案が提示された。狙いは経費増と名簿の悪用を避けるためのセキュリティの強化。
- 冊子の効用もあり、ダウンロードできる会員ばかりではないので、慎重に取り扱って

ほしい旨の意見がだされた。

- 意見を尊重し、検討していくことは承認された

6. 会費徴収方法について

- 平成16年1月より、コンビニからの振込みが可能となり、増収になっている。
- 次からの振込用紙（住所、氏名、振込み金額、説明書印刷済み）について承認。
 - ・ 卒業後21年以降の会員 会費（5年分） 15000円
 - ・ 卒業後20年までの会員 会費（1年分） 3000円の2種類で実施

7. 会員ネットワークの構築について：情報学部の杉山先生から報告

- 佐鳴Web版と紙面ベースの佐鳴の連携、会員と在校生コミュニケーションQ&Aシステム、就職支援等々のWebのコンテンツ充実。会員名簿の電子化、名簿の問い合わせシステム（案）等々、学生の支援を得て充実させてきた。
- 今後、支部活動活性化に向けて、各支部へWebページのホスティングやWebページ作成講習会＋支部総会取材＋Web化支援を実施していく報告があった。

8. 学生就職支援体制について

- 学生の就職にあたり、卒業生で企業OBの方に講師をお願いして、就職の基本的考え方、企業が求める人材像、企業の人事戦略等について紹介するとともに、就職試験の面接対応の指導を行う。
- 呼びかけを行っていくことが承認された。

9. 学生後援会との協力体制について

- 各学生の出身地域への大学の教育・研究・社会貢献等について説明を実施し、大学や浜松工業会のPRや受験生の拡大につなげようとの狙い。
- 各支部総会（当面4大支部）に保護者も参加していただき、講演や説明・PRを行いたい。
- 意向は理解するものの、支部総会への参加が一部の会員に限られ、若者も少ない現状で、保護者が参加してもらえる環境を作れるかが問題。慎重に進められるよう要請があった。

10. 学生創造教育支援について

- 全日本学生フォーミュラー大会への挑戦が企画されており、賛助会員への還元の意味で援助していくことが承認された。

11. リゾート施設「泉郷」の団体会員加入継続について

- 2003年10月から2004年6月25日までに利用延人数は202名。
- 支部長会議までに実体を把握し、目的と目標に照らして明確に結論を出すよう要請が出された。

12. 佐鳴会館説明版と寄付者の銘板について

- 佐鳴会館の沿革と寄付者の銘銘を銘板に残すことを検討することが承認された。

以上